別表２

年間の事務処理の流れ

月	支弁段階の決定等			経費の支給	状況報告等	月	備考
	県教委	学校	保護者等				
4		保護者へ書類配布 →	配布用紙 収入額・需要額調書 学校長への代理受領委任状 現物給付に係る受領の委任状 口座振込申出書 交通費(通学費・帰省費)所要額調 自家用車による通学届 個人番号提供チェック表 個人番号提供書及び同意書 個人番号確認書類 本人確認書類 その他必要とする書類			4	仮支弁段階で支給する場合 ４月の在校生については前年度の支弁段階により，新入生等については前々年の所得証明書によって仮支弁段階を決定し，早めの支給をすることもある。 この場合，前年分の所得額証明書を市町村が発行できるのがおおむね６月中旬以降となり，本支弁段階が決定された後，追給又は返納により調整することになる。
5		個人番号入力	← 調書等提出	通学費・帰省費等認定 口座振込情報等確認		5	
6	個人番号等情報照会	← 調書等(算定対象外など)提出 本段階用調書等審査 （収入額算定，需要額測定等）			交付申請計画書等提出(県教委)	6	
7	調書等審査	← 調書等提出（算定後）				7	
8	支弁段階決定(県教委)					8	
9	支弁段階決定通知	→ 支弁段階決定通知		各月の支給調書を作成し各経費を支給		9	
10						10	
11				学校の実績に応じて，少なくとも各学期１回は支給すること。	年間所要見込額調提出(県教委)	11	
12						12	
1					支給状況等報告書提出(県教委)	1	
2				個人別支給台帳等整理	※11月から3月の間に2回程度	2	
3					支給実績報告書提出（県教委）	3	

平成30年度 特別支援教育就学奨励費の支給単価

1　第　Ⅰ　区　分

(1)　教科用図書購入費（高等部のみ）　実　費

(2)　学校給食費

完全給食の実施単価（月～金曜日）　１食　265円

ただし，中種子養護　実　費

大島養護　294円

(3)　交　通　費

ア　通学費(本人)　実　費

イ　通学費(付添人)

幼稚部・小学部１～３年，小学部４～６年・中学部高等部の肢・重　実　費

ウ　帰省費(本人)　実　費

ただし，離島の児童生徒が，帰省の際宿泊を要する場合，１泊5,500円以内の実費を，また，船中泊の場合は，１夜1,000円を支給する。

エ　帰省費(付添人)　幼稚部・小学部・中学部，高等部の肢・重　実　費

ただし，離島の児童生徒が，帰省の際宿泊を要する場合，１泊5,500円以内の実費を，また，船中泊の場合は，１夜1,000円を支給する。

オ　職場実習費（中・高等部）　実　費

カ　交流及び共同学習費（幼・小・中・高等部(本・別)）　実　費

(4)　寄宿舎居住に伴う経費

ア　寝具・日用品等購入費

寝具対象学年　年額144,380円以内の実費

その他の学年　年額138,980円以内の実費

イ　食費（間食を含む）

幼稚部	年額156,210円以内の日額 1,010円
小・中学部	年額148,850円以内の日額 1,010円
高等部	年額139,750円以内の日額 1,010円

(5)　修学旅行費

ア　修学旅行費

小学部	（本　人）	21,180円以内の実費
	（付添人）	33,110円以内の実費
中学部	（本　人）	56,670円以内の実費
	（付添人）	81,340円以内の実費
高等部(本・別)	（本　人）	105,850円以内の実費
	（付添人）	152,930円以内の実費

※　付添人経費は肢・重

イ　校外活動等参加費

幼稚部	（本　人）	1,570円以内の実費
	（付添人）	2,350円以内の実費
小学部	（本　人）	18,240円以内の実費
	（付添人）	27,360円以内の実費
中学部	（本　人）	24,210円以内の実費
	（付添人）	36,310円以内の実費
高等部(本・別)	（本　人）	24,370円以内の実費
	（付添人）	36,550円以内の実費

※　小学部４～６年・中学部・高等部（本・別）の付添人経費は肢・重

ウ　職場実習宿泊費　高等部　（本　人）　7,380円以内の実費

(6)　学用品等購入費

○　幼　稚　部	年額 8,520円以内の実費
○　小　学　部	年額11,420円以内の実費
○　中　学　部	年額22,320円以内の実費
○　高　等　部（本・別）	年額31,690円以内の実費

(7)　拡大教材費（加算分・弱視の児童生徒が，校長が必要と認め授業において使用する拡大教材の購入費）

小学部・中学部　１ページ当たり42円を限度とし算定した額（１冊当たり10,500円限度）

(8)　音声教材費（加算分・視覚障害者である生徒に対する教育教育を行う特別支援学校の高等部（本科保健理療科）の生徒が，専門教科「保健理療」において採択された教科用図書を原本として音声化した教材であって，当該教科用図書とともに使用し得るものの購入費）

高等部（本・別）　（１科目当たり18,820円限度）

(9)　新入学児童生徒学用品費等

○　小　学　部（第１学年のみ）　40,600円以内の実費
○　中　学　部（第１学年のみ）　47,400円以内の実費
○　高　等　部（本・別）（第１学年のみ）　47,400円以内の実費

(10)　ＩＣＴ機器購入費（加算分）

高　等　部（本・別）　50,000円以内の実費

２　第　Ⅱ　区　分

(1)　教科用図書購入費（高等部のみ）　実　費

(2)　学校給食費

完全給食の実施単価（月～金曜日）

１食265円の単価で算出した額の1/2の額（１円未満の端数は切捨て）
ただし，中種子養護は１食単価を，大島養護は294円の単価で算出する。

(3)　交　通　費

ア　通学費(本人)　幼・小・中学部・高等部（本・別）　実　費
高等部（専攻科）　実費の1/2の額

イ　通学費(付添人)

幼稚部・小学部１～３年，小学部４～６年・中学部・高等部（本・別）の肢・重　実　費
高等部（専攻科）の肢・重　実費の1/2の額

ウ　帰省費(本人)　幼・小・中学部,高等部（本・別）　実　費
高等部（専攻科）　実費の1/2の額

ただし，離島の児童生徒が，帰省の際宿泊を要する場合，１泊5,500円以内の実費を，また，船中泊の場合は，１夜1,000円を支給する。

エ　帰省費(付添人)　幼・小・中学部，高等部（本・別）の肢・重　実　費
高等部（専攻科）の肢・重　実費の1/2の額

ただし，離島の児童生徒が，帰省の際宿泊を要する場合，１泊5,500円以内の実費を，また，船中泊の場合は，１夜1,000円を支給する。

オ　職場実習費　中学部,高等部（本・別）　実　費
高等部（専攻科）　実費の1/2の額

カ　交流及び共同学習費　幼・小・中学部,高等部（本・別）　実　費

(4)　寄宿舎居住に伴う経費

ア　寝具・日用品等購入費

寝具対象学年　年額144,380円の1/2の額を限度として実費の1/2以内の額
その他の学年　年額138,980円の1/2の額を限度として実費の1/2以内の額

イ　食費（間食を含む）　幼稚部　年額156,210円の1/2の額を限度として日額1,010円の単価で算出した額の1/2以内の額（１円未満の端数は切捨て）
小・中学部　年額148,850円の1/2の額を限度として日額1,010円の単価で算出した額の1/2以内の額（１円未満の端数は切捨て）
高等部　年額139,750円の1/2の額を限度として日額1,010円の単価で算出した額の1/2以内の額（１円未満の端数は切捨て）

(5)　修学旅行費

ア　修学旅行費　小学部（本　人）　21,180円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
（付添人）　33,110円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
中学部（本　人）　56,670円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
（付添人）　81,340円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
高等部(本・別)（本　人）　105,850円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
（付添人）　152,930円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
※　付添人経費は肢・重

イ　校外活動等参加費　幼稚部（本　人）　1,570円の1/2の額を限度として実費の1/2の額

（付添人）　2,350円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
小学部　（本　人）　18,240円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
（付添人）　27,360円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
中学部　（本　人）　24,210円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
（付添人）　36,310円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
高等部(本・別)　（本　人）　24,370円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
（付添人）　36,550円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
※　小学部４～６年・中学部・高等部（本・別）の付添人経費は肢・重

ウ　職場実習宿泊費　高等部　7,380円の1/2の額を限度として実費の1/2の額

(6)　学用品等購入費
○　幼　稚　部　年額 8,520円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
○　小　学　部　年額11,420円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
○　中　学　部　年額22,320円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
○　高　等　部（本・別）　年額31,690円の1/2の額を限度として実費の1/2の額

(7)　拡大教材費（加算分・弱視の児童生徒が，校長が必要と認め授業において使用する拡大教材の購入費）
小学部・中学部　1ページ当たり42円を限度とし算定した額の1/2の額(1冊当たり10,500円の1/2が限度)

(8)　音声教材費（加算分・視覚障害者である生徒に対する教育教育を行う特別支援学校の高等部（本科保健理療科）の生徒が，専門教科「保健理療」において採択された教科用図書を原本として音声化した教材であって，当該教科用図書とともに使用し得るものの購入費）
高等部（本・別）　（１科目当たり18,820円の1/2が限度）

(9)　新入学児童生徒学用品費等
○　小　　学　　部（第１学年のみ）　40,600円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
○　中　　学　　部（第１学年のみ）　47,400円の1/2の額を限度として実費の1/2の額
○　高等部(本・別)（第１学年のみ）　47,400円の1/2の額を限度として実費の1/2の額

(10) ICT機器購入費（加算分）
高　等　部（本・別）　50,000円以内の実費

３　第　Ⅲ　区　分
(1)　教科用図書購入費（高等部のみ）　実　費

(2)　交　通　費
ア　通学費（本人）　幼・小・中学部,高等部（本・別）　実　費
イ　通学費（付添人）
幼稚部・小学部１～３年，小学部４～６年・中学部・高等部（本・別）の肢・重　実　費
ウ　帰省費（本人）　幼・小・中学部，高等部（本・別）　実　費
ただし，離島の児童生徒が，帰省の際宿泊を要する場合，１泊5,500円以内の実費を，また，船中泊の場合は，１夜1,000円を支給する。
エ　帰省費(付添人)　幼・小・中学部，高等部（本・別）の肢・重　実　費
ただし，離島の児童生徒が，帰省の際宿泊を要する場合，１泊5,500円以内の実費を，また，船中泊の場合は，１夜1,000円を支給する。
オ　職場実習費　中学部,高等部（本・別）　実費の1/2の額
カ　交流及び共同学習費　幼・小・中学部,高等部（本・別）　実費の1/2の額
ただし，「職場実習費（交通費）」及び「交流及び共同学習費」については第Ⅲ区分の取扱いを「収入額が需要額の2.5倍以上3.5倍未満」に該当する者とする。

(3)　ＩＣＴ機器購入費（加算分）　高　等　部（本・別）　50,000円以内の実費

４　そ　の　他
帰省費で，宿泊料を支給する場合は，領収書を提出させること。
なお，船舶の欠航による宿泊については，欠航証明書を提出させること。

※　「肢」は肢体不自由，「重」は重度・重複障害

障害者のための各種割引（※参考資料　平成３０年鹿児島県ホームページより）

１．交通機関などの割引

１　ＪＲの旅客運賃割引

種別	割引率	割引対象	乗車券種別	注　意　事　項
第１種	５０％	本人単独	普通乗車券	片道１０１ｋｍ以上の場合。
		本人及び介護者	普通乗車券 回数乗車券 普通急行券 定期乗車券	介護者は１人のみ割引適用。 小児定期は割引適用無し。 本人と介護者は同一種類・区間の乗車券を同時に購入すること。
第２種	５０％	本人単独	普通乗車券	片道１０１ｋｍ以上の場合。
		本人(12歳未満)及び介護者	定期乗車券	介護者は１人のみ割引適用。 小児定期は割引適用無し。 本人と介護者は同一種類・区間の乗車券を同時に購入すること。

○　身体障害者手帳，療育手帳を提示してください。

○　詳細は，ＪＲ乗車券販売窓口までおたずねください。

２　肥薩おれんじ鉄道の割引

種別	割引率	割引対象	注　意　事　項
第１種	５０％	本人単独	片道１０１ｋｍ以上の場合。
		本人及び介護者	介護者は１人のみ割引適用。
第２種	５０％	本人単独	片道１０１ｋｍ以上の場合。

○　身体障害者手帳，療育手帳を提示してください。

○　詳細は，肥薩おれんじ鉄道までおたずねください。

３　航空運賃の割引

種　　別		対　象　者	販　売　期　間
１２歳以上	第１種	本人及び介護者１名	搭乗日の２か月前～搭乗日
	第２種	本人	
３歳～１１歳	第１種	介護者１名	

○　航空会社または路線によって異なります。

○　詳細は，各航空会社または航空券販売窓口におたずね下さい。

４　路線バスの割引　　別表

５　タクシー運賃の割引

タクシー料金のうち１０％割引きを受けることができる場合があります。

○　身体障害者手帳，療育手帳を提示してください。

○　詳細は，各タクシー会社におたずねください。

６　有料道路通行料金の割引

日本道路公団，地方道路公団等の有料道路が５０％割引きになります。

事前登録された自動車１台のみが対象となります。

種　　別	対　　象
身体障害者本人が運転	本人，又は同居の親族等が所有する乗用自動者等（営業用自動車を除く）
重度（第１種）身体・知的障害者が乗車し，移動のために介護者が運転する場合	本人，同居の親族等又は日常的に介護している者が所有する乗用自動車等（営業用自動車を除く）

○　詳細については，居住する市町村役場へおたずねください。

○　別途登録すれば，ＥＴＣノンストップ走行時の割引きも可能です。